

徳山工業高等専門学校	開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	工学セミナー
科目基礎情報				
科目番号	0158	科目区分	専門 / 選択	
授業形態	演習	単位の種別と単位数	学修単位: 1	
開設学科	土木建築工学科	対象学年	4	
開設期	通年	週時間数	0.5	
教科書/教材				
担当教員	海田 辰将,原 隆,上 俊二,佐賀 孝徳,橋本 堅一,古田 健一,渡辺 勝利,目山 直樹,桑嶋 啓治,中川 明子,島袋 淳,温品 達也,劉 懋			
到達目標				
本授業の到達目標は、学生が自分の進路について真剣に考え、目標を設定し、計画をたて、実行できるようになることである。				
ルーブリック				
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安	
	将来の進路に向けて明確に行動ができる	将来の進路に向けて行動ができる	将来の進路に向けて行動ができない	
学科の到達目標項目との関係				
JABEE g JABEE h 到達目標 B 2				
教育方法等				
概要	本授業では、学生の進路に応じた具体的な指導・サポートを行う。学生は自分の希望により民間就職コース、進学コース、公務員コースにそれぞれに分かれ、下記に示すようなそれぞれのコースで将来に向けての能力を蓄積していく。また以上のコースとは別に建築士コースがあり、建築士コースでは以上のコースを選択しながらも二級建築士合格に向けた能力を養っていく。			

授業の進め方・方法	第1回：希望コース調査と割り振り決定（担任） 第2回以降：下記のコース別指導を実施 ○民間就職コース：海田、島袋、中川、温品 民間就職コースでは、土木・建築系の『就活』をスムーズに始めるための総合的な支援を行う。 特に、インターンシップ書類やE S・履歴書・自己紹介書の作成/添削に関する個別指導に力を入れる。 〔前期〕 ・建設分野における就活基礎講座：第2～5回（用語・求人票・企業研究など） ・インターンシップ申込書（☆）の作成、添削指導：第6～15回 ・インターンシップ先の企業研究・発表（☆）：第6～15回 〔後期〕 ・就活に向けての準備講座：第16回 ・自身のキャリア整理（☆）：第17～20回 ・実際の様式を用いたE S・履歴書・自己紹介書の作成演習と添削指導（☆）：第21～25回 ・5年生、専攻科2年生（内定学生）から後輩へのメッセージ：第26回 ・面接練習、グループディスカッション演習：第27回以降 ※ 上記の項目や回数は目安であり、企業担当者による業種説明会を不定期で開催する。 ※ ☆印は成績の評価対象項目である。 ○進学コース：原、橋本、平栗 〔前期〕 進学のための動機づけと意識確立のための準備を進める ・なぜ進学するか、進学すると何がかわるか ・10年後までの目標、計画作り ・進路先の情報収集 ・英語力および数学力向上トレーニング ・個人面談 ・専攻科入試および大学編入試の説明 ・専攻科受験数学I～II ・試験問題の実施と解説 ・専攻科入試 専門科目（構造力学・土質/地盤工学・水理学・建築計画・建築構造・建築環境） ・TOEIC英語対策と単語試験 〔後期〕 進路先の確定を行い、資料収集等の準備を行う。また、卒業研究の準備を行う。 ・進学先の絞り込みと編入学試験の情報収集 ・受験スケジュールの作成 ・進路先情報収集 ・受験体験記（5年生および専攻科生との懇談） ・英語力向上トレーニング ・卒業研究テーマの決定（後期後半） ・個人面談 ・A～G大学における編入試験 ・卒業生および5年生の話 ・まとめ ○公務員コース：上、渡辺、目山、桑嶋 〔前期〕 公務員受験の心構えと公務員受験スケジュールの説明と教養問題（判断推理、数的推理）の演習を行う。 演習では学生に練習問題を割り当て、解説をさせる。 （数的推理） 方程式、不等式、整数、比・割合、速さ・距離・時間、座標・グラフ・数列、平面図形、空間図形、場合の数、確率 （判断推理） 論理・集合・人数、対応関係、暗号、順序関係、うそつき問題、試合と勝敗、位置関係、手順、道順、位相、軌跡、 平面図形の分割構成、空間図形の分割構成、多面体、展開図 国家公務員教養試験 〔後期〕 専門科目の練習問題の解答と解説 ○建築士コース：古田、劉 本科卒業時に受験可能な2級建築士試験問題を解き、解答解説をする。 〔前期〕 学科I（建築計画）、学科II（建築法規）、学科III（建築構造）、学科IV（建築施工）の4つの学科試験科目を各5回に分け、前期に約3回、分野ごとに演習問題を実施し、解答のうえ解説する。 〔後期〕 後期は各学科試験科目の残りについて、分野ごとに演習問題を実施し、解答のうえ解説する。 学科試験演習終了後は、製図試験の課題に挑戦し、木造とRC造を各1課題実施し総合評価する。			
	注意点			
	授業計画			
		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	各週ごとの決められた指導はなく、上記授業の進め方を参考にする。	
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	2ndQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		

後期		15週		
		16週		
	3rdQ	1週		
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	4thQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週		
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	100	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	30	30
専門的能力	0	0	0	0	0	30	30
分野横断的能力	0	0	0	0	0	40	40